

Rotary Club of AMA weekly report.



2021~2022年度
国際ロータリーテーマ

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



2021-2022年度 R.I.会長 シェカール・メータ
第2760地区ガバナー 峇名 俊裕
会長 家田 安啓 副会長 谷川 浩司
幹事 中島 英之
例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル
【公共イメージ向上委員会】
委員長 稲垣 秀樹 副委員長 神戸 剛
委員 浅野多喜男・古川 宏・後藤袈裟美・
池崎 晴美・西川 広樹・田中 正博

【事務所】〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

2022年 2月 14日(曇り) 第1週 第2376回例会

Attendance

会員	68名	欠席	15名	出席率	73.68%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time

家田安啓 会長



今日は職業奉仕委員会によるクラブフォーラムです。素晴らしいレストランを予約いただき、教育産業株式会社様のご協力を得て、WEB会議を体験することになっています。中澤委員長、ありがとうございました。この体験をもとに、WEB例会の可能性に関して、皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思います。

さて、今日はバレンタインデーです。元々は、西暦269年に殉教した「聖ヴァレンティヌスに由来する記念日」と伝えられているものです。キリスト教の人々の間では、恋人や家族などの大切な人に贈り物をする習慣があったそうです。ただし、このバレンタインデーは、公式には、カトリック教会の祝日ではないそうです。これに対し、日本では、いつのころからか、女性から男性にチョコレートを贈る日になってしまいました。チョコレート会社の陰謀というよりも販売促進策であろうことは想像できますが、誰

が、いつ言い出したのでしょうか。1936年2月12日付けの新聞に、神戸モロゾフ製菓（現在のモロゾフ）が、「バレンタインにチョコレートを贈りましょう」という広告を出したのが、日本では初めての事のように思われます。その後、1958年2月に、メリーチョコレートが伊勢丹新宿本店で「バレンタインセール」というキャンペーンをしたと言われています。その後、1960年から森永製菓が「愛する人にチョコレートを贈りましょう。」という新聞広告を出し、1965年には、伊勢丹がバレンタインデーのフェアを開催したとのことです。デパート業界では1956年にバレンタインデーという言葉を使った広告を出していたようで、伊勢丹より前に別のデパートが広告していたという意見もあります。また、1968年にソニーブラザーがチョコレートを贈ることを流行らせたという、ソニーの意見もあるようです。ところが実際には、チョコレート会社の販売促進が功を奏した訳ではなく、1970年代に入って、小学校高学年から高校生くらいの子供たちの間で広まっていったのが実情のようです。その後、1970年代の後半には女子が男子に親愛の

Today	2月28日(第2377回)
担当	家田安啓 会長
演題	ガバナー公式訪問 峇名俊裕ガバナー(安城RC) 津島RCと合同(ホスト:あまRC)
Next Week	3月 7日(第2378回)
担当	児玉憲之 社会奉仕委員長
演題	卓話 地区社会奉仕委員会 委員長 塩谷 和久君(名古屋RC)

情を込めてチョコレートを贈るという「日本型バレンタインデー」が社会に定着したようです。その後は、義理チョコ、友チョコなどが生まれました。いずれにしても、チョコレートをもらえることは嬉しいことであり、チョコレートの売上が伸びて景気を刺激してもらえるなら、なお良いことですし、人を好きになるためのお役立ちグッズと思えば、大いに推奨してもよいと思いますが、いかがでしょうか。

Secretary Report

中島英之 幹事

- 1 次週2月21日（月）は天皇誕生日の振替による休会です。
- 2 次回例会は2月28日（月）ガバナー公式訪問です。ネクタイ・ゼロパッチを忘れずに着用してください。
- 3 第3回次期準備理事会のご案内

日時 2月15日（火）18:00

場所 桂の間 名鉄GH 11F



ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム

地区職業奉仕委員会

委員長 青山博徳君



職業奉仕は難しい、難解だ、何を対象に奉仕するのか判らないと言うメンバーも居られるかと思いますが、「職業奉仕こそロータリーの根幹である」と言われる方もお見えになります。確かに、職業奉仕の概念は、世に多くある奉仕団体やNPO・NGOには無いロータリー固有の奉仕に対する考え方であるとも言えます。



よくロータリーの樹に表せられるように、ロータリーの活動の実りの果実や茂る枝葉は、クラブ奉仕と言う根っこと、職業奉仕と言う幹から成り立っていると先輩からよくご説明を頂きました。

職業奉仕が判り難いのは、「何々の為に奉仕する」と言う日本語が他の国際・社会・青少年奉仕と違い「言い換えの出来ない」部分があるので判り難いと言われますが、職業奉仕とは、他の団体にはないRC特有の奉仕に対する、活動に対する概念であり、そこがRCのRCたる由縁であり、最も肝要な部分であると委員会では考えて居ます。

一般的には「職業」は自分のための金儲けの手段・現実的手段、そして「奉仕」とは世のため、人の為に尽くす。営利とは対極の理想の世界と言われますが、一方で奉仕とは世の為・人の為に尽くすことで、営利とは、儲けとは、商売・職業とは対極の世界と言われます。一見、相反するこの「職業」と「奉仕」とどうやったら折り合いは付くのか、どうやったら「職業」と「奉仕」を矛盾しないで実践できるのかが判れば「職業奉仕」は理解出来ると思います。

ここで、皆さんに判りやすい例をご紹介します。昨年の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公・日本の資本主義の父と言われた「渋沢栄一」です。彼の有名な著書に「論語と算盤」と言う日本の社長に向けたバイブルのような本があります。彼曰く、論語とソロバンというかけ離れたものを一つにするという事が最も重要なのだ。と言って居ます。この「論語と算盤」は、まさしくRCの職業奉仕の概念と相通じる概念かと思えます。ご存知の方も多いかと思いますが、渋沢は数多くの会社の設立に携わると共に、沢山の学校の開設や福祉施設創設の先駆者でもあり、青少年奉仕・社会奉仕・国際奉仕の実践者でもありました。また渋沢同様に江戸時代の農政家・思想家の二宮尊徳も、「道徳を忘れた経済は罪悪であり、経済を忘れた道徳は寝言である」との格言があり、まさしく、ロータリーの職業奉仕の言わんとすることと根っこは同じであると言えます。



時代はSDGs！17の持続可能な開発目標を自分たちでどう実現して行くのか、環境と社会と経済の調和を、どう考えるのかは、私たちロータリアンが取り組むべき広い意味での「ロータリーの奉仕活動」だと思えます。今年の地区方針である コロナゼロ・カーボンゼロを自らの会社を通して、そして地域環境を通して、実践して行く事が「職業奉仕の概念」に合致すると考えて居ます。コロナゼロ・カーボンゼロを自らの会社を通して実践することが、職業奉仕の概念に繋がると信じて居ます。

～の為に奉仕する。 職業の為に奉仕する・・・を、自らの職業・職域を通じて今年の地区方針「コロナゼロ・カーボンゼロ」の実践と捉えてこそ、RCの職業奉仕の神髄と言えます。環境負荷など度外視して、自分の利益の為に手段を選ばずライバルを打ち負かしてでも利益を確保し、その儲け・利益から、罪滅ぼし・免罪符の様なカタチでの金品の寄付行為や奉仕活動は、本来のロータリアンの目指す奉仕活動ではありません。世の為・人の為・真実公平を考えながら、自己犠牲を払いながら誠実に仕事に励むことこそ大切ですが、そのバランスはとても難しい・・・ですが「難しいから、高い理想だから、それ目指すのがロータリアン」たる由縁であり、奉仕の理想を求めるのがロータリアンで有るはずです。

「職業奉仕」を正しく理解すれば、職業と奉仕は「世の為、人の為」同じベクトルで語る事が出来き、その活動に矛盾は有りません。今年の地区方針「コロナゼロ・カーボンゼロ」のテーマを自らの会社を通じて実践する事が職業奉仕に繋がると信じて居ます。ご清聴有り難う御座いました。



教育産業株式会社 今枝伸保社長

